①Webを活用したホットラインについて

【令和6年度の運用】

- ・令和6年度のWebを活用したホットラインの運用としては、台風第7号、台風第10号の際に、それぞれ<u>第1段階の「Webを活用したホットライン」を開催</u>
- ・Web会議では、前橋地方気象台、水資源機構下久保ダム管理所、高崎河川国道事務所から、台風の予測、早期注意情報、過去の台風、下久保ダムの降雨・貯水位予測等の情報が提供された

●Webを活用したホットラインの概要

災害名	開催日時	主な内容
台風 第7号	令和6年 8月15日 15:00~	OWebを活用したホットライン(第1段階) ・ <u>前橋地方気象台</u> : 見通しとポイント、台風予報、早期注意情報(警報級の可能性)など ・ <u>高崎河川国道事務所</u> : 降雨・流出特性、過去の主な洪水時の台風経路 など ・ <u>下久保ダム管理所</u> : 下久保ダムの降雨・流出・貯水位予測
台風 第10号	令和6年 8月29日 14:00~	OWebを活用したホットライン(第1段階) ・前橋地方気象台:見通しとポイント、台風予報、早期注意情報(警報級の可能性)など ・高崎河川国道事務所:降雨・流出特性、過去の主な洪水時の台風経路、水害リスクラインなど ・下久保ダム管理所:下久保ダムの降雨・流出・貯水位予測



台風第7号の際のWeb会議の様子

●参加機関 ※アカウント名から事務局が出席を判断

	気象	東庁												群馬県			埼玉県					古城
	前橋 地方 気象台	-673	水資源 機構	高崎市	藤岡市	玉村町	神川町	上里町	伊勢崎 市	本庄市	深谷市	河川課	危機管理課	高崎土木	藤岡土木	伊勢崎土木	河川 砂防課	災害 対策課	本庄県土	JR 東日本	上信電鉄	高崎 河川 国道
8/15	•		•		•		•		•	•	•	•	•	•			•	•		•		
8/29	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•	•	•		

①Webを活用したホットラインについて(続き)

【令和6年度の訓練(振り返り1/2)】

- ・第2段階のWebを活用したホットラインを対象とした訓練を8月6日に実施
- ・訓練では、Webを活用したホットラインの概要や開催条件等の説明を実施した上で、令和元年台風第19号時の状況を参考に 設定したシナリオに基づき、各機関からの情報共有(資料説明)を実施
- ・訓練後にWeb接続や情報提供内容に関する意見交換を実施

●訓練の主な内容

①Webを活用したホットラインの概要の確認

- 経緯、開催条件、基本的な情報共有項目等
- ・令和元年台風第19号の振り返り、訓練シナリオ

②Webを活用したホットライン(第2段階)の訓練

- ・前橋地方気象台からの情報共有(台風の進路予想、雨の実況など)
- ・高崎河川国道事務所からの情報共有(雨量実績、水位予測など)
- ・下久保ダム管理所からの情報共有(出水対応予測など)

③意見交換

- ・第2段階のWeb 接続、及び以降の接続に関する内容
- 第1段階、第2段階の情報提供内容に関する内容



訓練の様子

●参加機関 ※アカウント名から事務局が出席を判断

	気象庁													群馬県				埼玉県				古林
	前橋 地方 気象台	熊谷 地方 気象台	水資源 機構	高崎市	藤岡市	玉村町	神川町	上里町	伊勢崎 市	本庄市	深谷市	河川課	危機管理課	高崎 土木	藤岡土木	伊勢崎土木	河川 砂防課	災害 対策課	本庄県土	JR 東日本	上信 電鉄	高崎 河川 国道
8/6	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•		•

①Webを活用したホットラインについて(続き)

【令和6年度の訓練(振り返り2/2)】

- ・意見交換では、第2段階以降のWeb接続した状態の可否に関する意見交換を中心に実施
- ・その他、訓練を通じてWeb会議の開催にあたっての基本的な課題と対応策等を整理

●意見交換の主な内容

テーマ	対応策
第2段階 Web接続、及び以降の 接続について	 ○Webを接続したままにする場合、各機関で1台占有することは可能か。(高崎河川) → 群馬県の自治体とのWeb会議の常時接続を考えているが、在席が必須でなければ1台確保は可能であると考えられる。(前橋気象台) → 本協議会とは別に他河川でも同様の取組みが行われている。他河川と合わせて接続することになると、設備や人的な負担が大きくなる。(熊谷気象台) → 機関によって専用PCを常時接続することは難しいことが判ったため、高崎河川では常時開催のままとし、各機関が任意で接続をして頂きたいと考えている。(高崎河川)
第2段階 情報提供内容 について	○JR東日本が実施する計画運休の判断等について、水位予測等の必要な情報等について。(高崎河川) → 台風時は、雨量や風量等をもとに速度規制や運転中止等を判断している。計画運休の可能性を、2日前程度に発表する。また、1日前に 具体的な情報を発表する。気象台やウェザーニュース等の情報も含めて対策本部の中で検討しているため、Web会議で情報提供することが可能であると考えられる。第2段階のタイミングでは見込みではなく、計画運休を開始しているかもしれない。大規模出水が想定される場合、車両の退避等も考えられるので高崎河川に個別に確認することもあると考えている。(JR東日本)
第1段階 情報提供内容 について	〇第1段階で高崎河川から提供する情報として、過去の水害における台風経路、雨量・水位等を予定している。(高崎河川) 〇第1段階のタイミングでは、 <mark>ダムから事前放流等の情報も提供する予定</mark> である。(下久保ダム)

●その他の課題と対応策案

課題	対応策
訓練説明の冒頭に事務所のPCが落ちてしまった(高崎河川)	災害時にはPCを2台体制にしておくなどの対応を検討する
アカウント名は一部の参加者のみ変更している	運用方針案に基づき、変更可能な機関は変更を徹底する(複数課が入っている場合は、複数課が入っていることが分かるようにする)
発言中に、他機関マイクから雑音が入る	他機関の発言中は、ミュートにする等のルールを徹底する

①Webを活用したホットラインについて(続き)

【Webを活用したホットライン運用方針(案)の更新について】

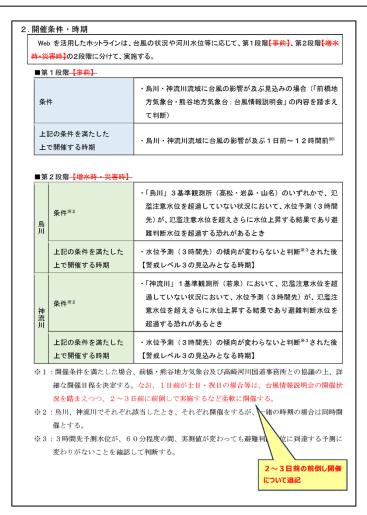
- ・Webを活用したホットライン運用方針(案)について、第10回減災対策協議会(R6.2)からの見直しを実施し、第1段階の開催 条件への追記や全体の表現の修正・統一等を実施
- ・更新案は、「参考資料2-1 Webを活用したホットライン運用方針(案)」に提示

●主な更新内容①

・第1段階の開催条件として、台風の影響が及ぶ1日前が土日・祝日の場合は、台風情報説明会の開催状況を踏まえつつ、2~3日前に前倒して実施する旨を追記。(右図吹き出し箇所)

●主な更新内容②

- ・以下の表現を修正・統一
 - ▶ Webを活用したホットライン【第1段階(事前)】、【第2段階(増水時・災害時)】の表現は、煩雑になるのを避けるために、それぞれ(事前)や(増水時・災害時)の表現を削除し、(第1段階)、(第2段階)のみの表現に修正
 - ▶「氾濫する可能性のある水位」は、「氾濫の可能性のある水位」に表現を統一



①Webを活用したホットラインについて(続き)

【Webを活用したホットライン運用方針(案)の更新について】

●主な更新内容③

・高崎河川国道事務所が中心となり、第2段階のWeb会議以降も接続を継続し、適宜情報共有を実施することを新規に参考として整理(各機関は任意参加)。

第2段階以降の接続の 内容を新規整理

【参考:第2段階以降の Web 会議の接続について】

第2段階の Web 会議以降、事務局(高崎河川事務所)が中心となり接続を継続し、適宜情報共有を実施する。各機関は任意で参加する。

第2段階のWeb会議以降、事務局(高崎河川事務所)が中心となりWeb接続を継続し、河川水位等のリアルタイム情報を含むダッシュボードの画面共有等により情報共有を行う。

以下の内容を基本とした運用を行うが、状況に応じて柔軟に対応する。各機関は任意で参加を判断する。

【基本的な運用内容】

- ・事務局は、下図に示すダッシュボード等の情報を画面共有により継続的に共有する。なお、水位 の大きな変化や被害の可能性が高まった場合等、状況に応じて適宜音声により内容を周知する。
- ・各機関は任意で接続し(再接続・退出自由)、質問や確認事項がある場合は、音声にて事務局へ問い合わせする。事務局では人を張り付けた運用を想定しているが、状況に応じて回答や対応が困難な場合があることに留意する。
- ・接続の終了は、水位の低下や体制解除等の状況に応じて、事務局にて判断する。

■ダッシュボードの表示内容(イメージ)



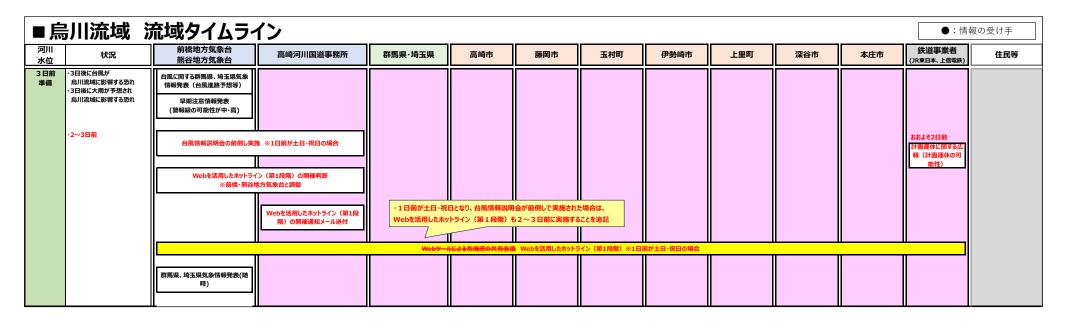
②流域タイムラインについて

【流域タイムラインの更新について】

- ・流域タイムラインについて、第10回減災対策協議会(R6.2)からの見直しを実施し、全体の表現の統一や出水時の巡視等に 関する行動の一部追記等の更新を実施
- ・更新案は、「参考資料2-2: 鳥川流域 流域タイムライン」「参考資料2-3: 神流川流域 流域タイムライン」に提示

●主な更新内容①

- ・「Webツールによる危機感の共有会議」を「Webを活用したホットライン(第○段階)」に表現統一
- ・台風の影響が及ぶ1日前が土日・祝日の場合は、台風情報説明会の開催状況を踏まえつつ、2~3日前に前倒して実施する旨を追記 ※もともと3日前の段階に記載されていた「Webツールによる危機感の共有会議」の位置づけを明確化
- ・鉄道事業者における、おおよそ2日前時点の「計画運休の可能性に関する広報」について追記



②流域タイムラインについて(続き)

【流域タイムラインの更新について】

●主な更新内容②

・氾濫注意水位到達後のフェーズにおいて、高崎河川国道事務所の「情況把握」と、水防計画等に基づく各市町の「巡視・活動状況の確認・報告」 を追加

河川 水位	状況	前橋地方気象台 熊谷地方気象台	高崎河川国道事務所	群馬県·埼玉県	高崎市	藤岡市	玉村町	伊勢崎市	上里町	深谷市	本庄市	鉄道事業者 (JR東日本、上信電鉄)	住民等
	・氾濫注意水位超過 ■烏川 ・高松水位観測所:3.6m ・岩海水位観測所:3.3m ■鏡川 ・山名水位観測所:2.6m		様管等の操作委託者への <u>操作開始</u> 通知 [高崎市 (操作開始水位)] 岩房4-0m: 岩原経管 情況把握 維持工事業者による河川管理施設等の情 況把握業務の実施	・情況把握業務について追	E			·水防計画等に基 2.水防活動状況の確認・ 3.水防団による運程や水防		告を追記			

●主な更新内容③

・第2段階のWebを活用したホットライン以降もWeb接続を継続し、適宜情報共有を実施することを追記(各機関は任意参加)

河川 水位	状況	前橋地方気象台 熊谷地方気象台	高崎河川国道事務所	群馬県·埼玉県	高崎市	藤岡市	玉村町	伊勢崎市	上里町	深谷市	本庄市	鉄道事業者 (JR東日本、上信電鉄)	住民等
	·水防団待機水位超過 ■島川 ·高松水位観測所:1.6m ·岩鼻水位観測所:1.0m ■鏡川 ·山名水位観測所:2.2m	•	「第2段階】Webを活用したホットライン (第2段階)の開催通知メールの送付		•	•	・名称の統一	•	・以降の接続継糸	*について追記	•	•	
			降もWeb会議は接続を継続(任意参加)										

②流域タイムラインについて(続き)

【簡易版流域タイムラインの作成について】

- ・<u>流域タイムラインについて、各機関が実施すべき行動の全体像を把握しやすくし、チェックリストとしての活用もできるように情</u>報を集約した簡易版の流域タイムラインを作成(A3・2枚)
- ・流域タイムラインに記載されている情報は全て網羅するとともに、少ない資料枚数で全体が確認できる様式として作成
- ・案は、「参考資料2-4:【簡易版】鳥川流域 流域タイムライン」「参考資料2-5:【簡易版】神流川流域 流域タイムライン」に提示

●簡易版流域タイムラインのイメージ

